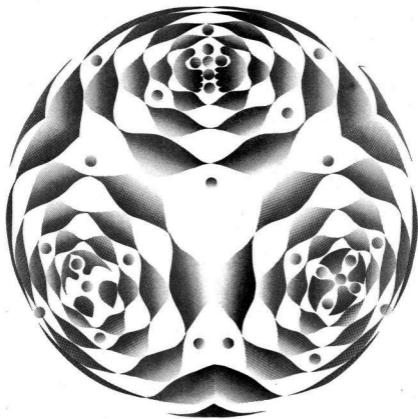


パトリスティカ

— 教 父 研 究 —

(創刊号)



新 世 社

東方キリスト教叢書

(第一期全五巻)

監修・大森正樹／宮本久雄／谷隆一郎

日本のキリスト教界にあまり知られていない、東方キリスト教の宝を紹介する目的で『東方キリスト教叢書』を刊行します。

第一期として、著名なロシア、フランス、イタリアの学者による靈性、典礼、イコンに関する著作を選びました。以後、みなさまのご支援が得られれば、神学、教会史、教会法を含めた領域にまで広がっていく予定です。

* 1 『美と信仰 —イコンによる観想—』

M・G・ムジ (大森正樹訳) 定価 二九〇〇円

32葉のイコンに付した神学、靈性、教会史的解説を通して隠れた神への観想を誘う。

2 『オーブチナ修道院』(仮題) 次回配本

S・チェトベリコフ (安村仁志訳)

前世紀にドストエフスキー、ソロビヨフら多くのロシアの知識人が魂の平安を求めて訪れた修道院の姿を明らかにする。

3 『イエスの祈り』

O・クレマン (宮本久雄訳)

現代フランスの東方教会を代表するクレマンによる、東方靈性の根幹であるイエスの祈りの解説。

4 『東方典礼への招き —秘儀と象徴—』

I・H・ゲルメ (市瀬英昭訳)

典礼学の権威が日本でもあまり知られていない東方典礼をその歴史と内容について簡潔に解明する。

5 『神の狂おしいほどの愛』

P・エフドーキモフ (谷隆一郎訳)

フランスに亡命して、ロシア正教の精神を西欧に知らせた信徒神学者の神の極まらない愛を描いた好著。

新 世 社

*印は既刊 (1994年5月)